

(株)地主クリニカルサポート

在宅介護支援センター デイサービスたまゆら 【地域密着型通所介護】

運営推進会議開催 報告書

開催日時	
令和元年9月13日(金) 14:00~15:00	
参加者	
利用者様	1名
利用者家族様	1名
地域住民代表 民生委員(西原)	1名
地域ボランティア	1名
地域包括支援センター	1名
知見者 介護支援専門員	1名
職員	1名(管理者)
会議次第	
(1) 開会のあいさつ (2) 出席者の紹介 (3) 事業所の紹介 (4) 活動状況の報告 (5) ヒヤリハットや事故等の報告 (6) 意見交換・質疑応答 (7) 閉会のあいさつ	
会議録	
○ 事業所の概要説明 職員体制・利用者様登録状況・介護度内訳・年齢内訳・平均利用者数	
○ 活動状況の報告 3月…調理レク(ちらし寿司)・おやつ作り(さくら餅) 4月…調理レク(お花見弁当)・おやつ作り(いちご大福)・作品展示会 5月…調理レク(ハヤシライス)・おやつ作り(柏餅風どら焼き) 6月…調理レク(炊き込みご飯・豚汁)・おやつ作り(シュワシュワフルーツポンチ) 7月…調理レク(そうめん・いなり寿司)・おやつ作り(3色の豆腐白玉あんみつ)・消防訓練 8月…夏祭り・おやつ作り(梅ヶ枝餅)	
その他…生け花(毎月1回)	

○ ヒヤリハットや事故の報告

(事例1) イスに座った状態でのレクリエーション中、熱中して身を乗り出したときに前に勢いにつき、床に右膝をつかれた。痛みや外傷はなかった。

【対策】注意点等の説明を継続すると同時に、職員も広い視野を持ち、危険予測に今後も努めていく。

(事例2) レクリエーションのための席移動で職員が席へ誘導していたが、椅子の手すりを持つとした時に急にバランスを崩し、後方へ尻もちをつかれた。外傷はなかったが、レクリエーションの少し前に通常行わない中腰での作業を長時間されていた。

【対策】体調や身体状況に合わせた介助を継続していく。疲労があったことも推測されるので、休息を挟むなど配慮していく。

(事例3) 調理レクで大根の皮むきをしている時に、包丁で左手第1指を1~2mm切ってしまう。

【対策】包丁遣いは手慣れていても調理の機会が減っている現状も念頭に入れ、見守りや声掛けを継続する。ケガのリスクがあるプログラムだがいきいきと参加されているので、落ち着いて調理を行える環境づくりを職員も引き続き心がける。

○ 意見交換・質疑応答

- ・職員みんなが優しくしてくれる。身体がきつい日もあるが、職員に相談しながら過ごせるので今は大丈夫。
- ・通所に行っている間は本人も安心し楽しく過ごしていると思う。
- ・本人が地域行事への参加が難しくなっており、通所が落ち着ける場になっている。
- ・ボランティアの受入れもオープンにしているので、風通しの良い事業所と感じた。
- ・手作業の作品が細々としたものが多く、驚いている。
- ・興味のあることが一つでもある人は歳をとってからも楽しみがあり良いなと利用者様との関わりの中で感じている。

- ここにボランティアに来ることで様々な思いを抱くこともあるが最終的には癒されている。
- 自分の生活圏内の事業所でのボランティアとなると、近所の利用者様もおられるので関わり方や会話において適度な距離感をもって関わる必要もあると感じている。
- 地域の同世代の人たちが外に出て活動している事は良いこと。
- 包括支援センターでもボランティア活動に対する希望者がいるが、ボランティアの受入れは可能か？(ポイント手帳は対応していないが受入れは可能と説明する)

○ 次回開催は令和2年3月の予定